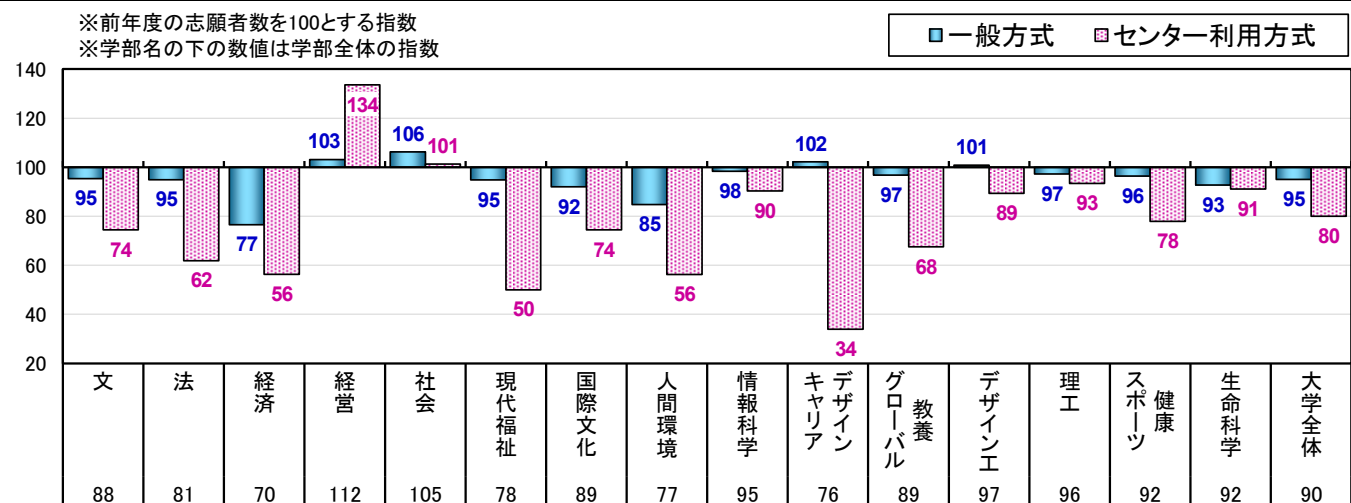


2020 年度入試状況分析【私立大】

法政大：大学全体では2年連続減少、15学部中13学部が減少 一般：-3,776人 センター：-8,043人



入試変更点 選抜方法：文、法、経済、現代福祉、人間環境、情報科学、デザイン工、理工、スポーツ健康、生命科学…英語外部試験の対象試験の変更
法(国際政治)、現代福祉、情報科学、デザイン工、理工、生命科学…英語外部試験のスコア変更
募集人員：国際文化<A方式>…125人→120人
グローバル教養<T日程>…6人→3人、<英語外部試験利用>…6人→3人

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、11,819人(90)の減少で2年連続減少。方式別では、一般方式(95)はやや減少だったが、前年度合格最低点をアップさせたセンター利用方式(80)は大幅減少。特に3教科型の<セ・B方式>(77)は減少数が7,300人以上で、全体の減少数の60%以上を占めた。また、一般方式の<英語外部試験利用>(121)は、多くの学部で対象試験を拡大したことなどで大幅増加。学部別では、経営(112)、社会(105)は増加したが、他の13学部は減少し、経済(70)、キャリアデザイン(76)、人間環境(77)、現代福祉(78)、法(81)は大幅減少。

<一般方式>

- 文(95)は、やや減少で2年連続減少。学科別では、(地理)(87)が4年ぶりの減少。一方で、(哲)(125)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。
- 法(95)は、やや減少で3年連続減少。学科別では、(政治)(127)は大幅増加で2年連続増加。一方で、(法律)(85)は大幅減少で3年連続減少、(国際政治)(94)は前年度大幅増加の反動でやや減少。
- 経済(77)は、大幅減少で3年連続減少。学科別では、(経済)(74)は大幅減少で2年連続減少、(国際経済)(76)も大幅減少。
- 経営(103)は、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加に留まった。学科別では、(経営)(126)が前年度大幅減少の反動で大幅増加。他の2学科はいずれも大幅減少。
- 社会(106)は、前年度減少の反動でやや増加。学科別では、唯一増加の(社会政策)(208)が前年度大幅減少の反動で倍増以上。
- 現代福祉(95)は、やや減少で2年連続減少。
- 国際文化(92)は、前年度増加の反動で減少。
- 人間環境(85)は、前年度増加の反動で大幅減少。方式別では、3方式とも減少。
- 情報科学(98)は、微減だが2年連続減少。学科別では、(コンピュータ科学)(108)が前年度減少の反動で増加したが、(デジタルメディア)(87)は2年連続減少。
- キャリアデザイン(102)は、前年度減少の反動は小さく微増に留まった。方式別では、<T日程>(120)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。
- グローバル教養(97)は、やや減少で2年連続減少。方式別では、<英語外部試験利用>(205)が前年度8割以上減少の反動で倍増以上。
- デザイン工(101)は、微増だが9年連続増加。学科別では、(都市環境デザイン工)(123)が前年度減少の反動で大幅増加。他の2学科はやや減少。
- 理工(97)は、やや減少で9年ぶりの減少。学科・専攻別では、(創生科学)(115)、(電気電子工)(108)が増加。他の3学科は減少。
- スポーツ健康(96)は、やや減少で2年連続減少。方式別では、<英語外部試験利用>(131)が前年度大幅減少の反動などで大幅増加。
- 生命科学(93)は、やや減少。学科別では、(生命機能)(114)は増加したが、(環境応用化学)(75)が前年度大幅増加の反動で大幅減少、(応用植物科学)(86)は3年連続減少。

2020 年度入試状況分析【私立大】

<センター利用方式>

- 文(74)は、大幅減少5学科別では5(英文)(124)は大幅増加だが5他の5学科は減少で、(哲)(93)以外はいずれも大幅減少。
- 法(62)は、大幅減少で6年ぶりの減少。学科別でも、3学科ともに大幅減少。
- 経済(56)は、大幅減少で2年連続減少。学科別では、(現代ビジネス)(165)は前年度半減の反動で激増、前年度1.9倍増の(国際経済)(29)は激減、(経済)(49)は半減以下。
- 経営(134)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。学科別では、(経営戦略)(486)は前年度激減の反動で5倍近くに激増。(市場経営)(69)、(経営)(70)は大幅減少。
- 社会(101)は、微増で前年度大幅減少の反動はほとんどなかった。学科別では、(メディア社会)(48)は半減以下の大幅減少、(社会)(64)も大幅減少で、いずれも前年度大幅増加の反動。一方で、(社会政策)(388)は前年度激減の反動で4倍近くに激増。
- 現代福祉(50)は、4年連続増加の反動で半減。学科別では、(福祉コミュニティ)(29)が2年連続大幅増加の反動で激減、(臨床心理)(96)は2年連続大幅減少の反動はなくやや減少。
- 国際文化(74)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 人間環境(56)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 情報科学(90)は、5年ぶりの減少。学科別では、(コンピュータ科学)(94)はやや減少、(デジタルメディア)(85)は大幅減少で2年連続減少。
- キャリアデザイン(34)は、前年度大幅増加の反動で激減。方式別では、<セ・B方式>(26)が前年度増加の反動で7割以上の激減、<セ・C方式>(125)は前年度半減の反動で大幅増加。
- グローバル教養(68)は、前年度増加の反動で大幅減少。
- 理工(93)は、前年度増加の反動でやや減少。学科・専修別では、全て前年度の反動で増減。(創生科学)(179)、(電気電子工)(129)が大幅増加したが、他の学科はいずれも減少。
- スポーツ健康(78)は、大幅減少で3年連続減少。
- 生命科学(91)は、前年度増加の反動で減少。学科別では、(生命機能)(123)が大幅増加。(環境応用化学)(66)は大幅減少。いずれも前年度の大増減の反動。